

40. 後期日程試験帰宅困難受験者に係る対応

(学外対応分)

実施時期又は期間

平成23年3月13日～平成23年3月21日

対応部局及び人員

理事（教育・学生担当）、教員（人文学部、教育学部）、事務職員

実施の背景・目的

地震に伴う交通機関の全面停止により、帰宅困難となった受験者及び保護者の宿泊場所を確保するとともに、相談窓口を開設しメンタル面でのケアにあたった。

実施概要

3月13日（日）

- ・ 午後、弘前市企画課から、「受験者等が市の避難場所に何人かおり、現在は全員（60～70人）がロマントピアに移動している」との連絡があった。
- ・ 夕方、ロマントピアにおいて、現状及び大学内の相談窓口設置などについて説明（学務部職員、人文学部長、人文学部教員）後、弘前市企画課と協議を行った。

3月14日（月）

- ・ 相談窓口を学生食堂内に設置し、有志教員（人文学部・教育学部）、事務職員及び大学生協が帰宅方法等の相談にあたった。
- ・ 約50名が引き続きロマントピアに宿泊した。

3月15日（火）

- ・ この時点で帰宅困難であった10名を文京荘に移動し、食事を提供した。

3月21日（月）

- ・ 全員が帰宅

効果又は結果

弘前市や大学生協と連携し、帰宅のための交通機関の手配や宿泊先の確保を行ったことで、帰宅困難者の不安を緩和した。

今後の課題

自治体との緊密な連携が必要である。

担当部局名

学務部入試課